

## E 他出者と出身地域の関わりの拡大 (2020～2021年度)

### ◇概要

中山間地域では、少子化、高齢化、過疎化による人口減少が加速しています。それに伴い、活動の担い手も減少しています。これまでと同様の活動を継続することが難しくなりつつあり、新たな担い手の確保が喫緊の課題となっています。近年は「関係人口」という地域に居住していなくても地域を支援する存在に注目が集まっています。本研究では、このような概念を整理するとともに、関係人口の中でもU・Iターンや他の関係人口による支援の拡大にも大きく影響を与える存在である「出身者(他出子)」に着目し、暮らしの視点からの担い手の確保についての研究を行います。

### ◇課題と研究の目的

本研究で着目する他出子は、関係人口の一部ですが、実家(出身世帯)への生活サポートや地域活動への参加など大きな役割を果たしています。今後のU・Iターンの促進や他の関係人口への支援の拡大にも可能性を持った存在ですが、自治体においては、居住人口等の外形上の把握はできているものの、他出子や関係人口の把握は難しく、それらの果たしている機能や役割、地域住民や集落活動がどのように関係しているのかは把握できていません。

以上を踏まえ、本研究では、①関係人口の整理、②他出子の把握および追跡調査の実施、③他出子と協働した地域づくり支援手法の開発を通して、関わりを拡大させる促進策を整理します。

### ◇研究の方法

研究項目		目指す到達点
① 関係人口の整理	⇒	■関係人口についての議論や概念の整理 ■関係人口の特徴把握と他出子との関係性の整理
② 他出子の把握および追跡調査の実施	⇒	■他出子と家族や出身地域との関わり方の実態の把握 ■他出子が家族や出身地域と関わる際の障壁の把握
③ 他出子と協働した地域づくりの実証実験	⇒	■他出子の関係性や距離に応じた関わり方の整理 ■他出子と協働した地域づくり支援手法の開発、関わりを拡大させる促進策の整理

#### ① 関係人口の整理

- ・各分野で使用されている関係人口の議論・概念を整理
- ・関係人口の特徴把握および関係人口と他出子との関係性整理
- ・上記を通じて、他出子の持つ役割と影響力の把握(人間関係の仲介や所有権等)

#### ② 他出子の把握および追跡調査の実施

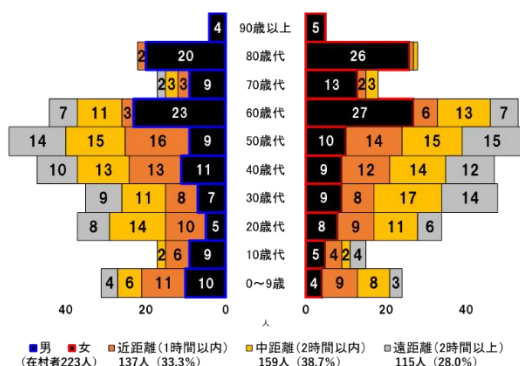
- ・第5期研究調査地区の設定(T型集落点検の実施)および実態把握
- ・他出子と家族や出身地域との関わり方の実態の把握(T型集落点検およびヒアリング調査)

#### ③ 他出子と協働した地域づくりの実証実験

- ・他出子と出身地域との関係性や距離に応じた関わり方の整理  
(関わり例:近距離だと高頻度の支援が可能、遠距離だと支援頻度に限界等)
- ・他出子と協働した地域づくりの支援手法の開発(調査地区での計画と実践)
- ・他出子との関わりを拡大させる促進策(行政施策への落とし込み)

## 出身者と連携・協働した地域活動

- ・飯南町谷地区は、在住者223人に対して、2時間圏内に196人が居住
- ・昨年6月に出身者へ草刈り支援の要請(手伝ってほしい・助けてくれないか)
- ・コロナ禍の中で、松江市・出雲市・広島県などから6名が参加
- ・活動を通じて、出身世帯(実家)への支援から、地域へ支援・関わりが拡大
- ・来年度は同窓会を通じ、情報発信・関わりの拡大の予定(出身者調査)



出典：飯南町共同調査(2018)「T型集落点検」(飯南町谷地区)

## 地域防災の構築を通じた結びつき強化

- ・老若男女に関わりがある防災を通じた繋がりへの再構築(出身者の役割確認)
- ・近年特に関心が高い「地域防災」を通じた地域内外の関係性把握
- ・市町村・社協・地域住民組織が利活用できる「地域づくり×防災」メニュー作成  
(緊急連絡網, 安心カード, 防災バッグ, 支え愛マップ, 避難所運営, クロスロード, いのちを守るカドリル)



### ◇連絡・問い合わせ先

島根県中山間地域研究センター 企画情報部 地域研究科

担当 主任研究員 東 良太、研究員 貫田 理紗

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来 1207番地

TEL:0854-76-3846 FAX:0854-76-3758

E-mail: azuma-ryota@pref.shimane.lg.jp H P: http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/